

2023 年度  
ミス・パリ エステティック専門学校  
名古屋校

自己評価報告

2024 年 4 月

学校法人ミスパリ学園  
ミス・パリ エステティック専門学校  
名古屋校

## 2023年度 自己評価について

学校法人ミスパリ学園が運営するミス・パリ エステティック専門学校名古屋校は、愛知県名古屋市東区に2008年4月に開校しました。同時期に姉妹校であるミス・パリ エステティック専門学校（大阪府北区）も開校しております。

本校の前身となるミスパリエステティックスクールは、エステティック教育においては、常に先進的な理論と技術を教授し、その授業時間も300時間、1,000時間と増やすことにより、カリキュラムを充実させてきました。

専修学校として再スタートをする際には、全国でもあまり類を見ない2年間で2,085時間という非常にハイレベルのカリキュラムを編成し、即戦力人材の育成に注力し、有為な人材を関係業界だけでなく他分野にも多数輩出してまいりました。

これからも本校の教育理念である「美しく聡明で品格あるプロフェッショナルの育成」を基本とし、教育内容の更なる充実を図り、日本のみならず世界で活躍できる人材育成に向け、教職員一同努力してまいります。

以下にあるとおり2023年度の自己評価の取り組み状況をご報告いたします。

自己評価の目的は、本校に関する各項目を教職員が客観的に評価することにより、改善点を見出し、更に実践的な教育プログラムを充実させることにより、学生はもとより教職員の質の向上に資するものです。

学生が卒業後も活躍できる環境の醸成に向け、今後も引き続き、企業や業界団体の皆様のご理解、ご支援を賜りたいと存じます。

### 1. 評価実施期間

2023年4月1日～2024年3月31日

### 2. 実施方法

- (1)校長以下、課長、教育課が中心となり、各教職員が連携して評価を行う。
- (2)評価は「専修学校における学校評価ガイドライン」を参考にしている。
- (3)評価は、年度終了後速やかに行い、年1回行うこととしている。
- (4)評価は講師研修会にて各職員に評価表を配布、各項目の内容、今年度の具体的な取り組みについて解説をしながら評価を行った。
- (5)評価結果は、学校関係者評価委員に報告するとともに、現状と今後の改善、解決に向けた取り組み等を公表することとする。

3. 自己評価の項目

- |            |               |            |         |
|------------|---------------|------------|---------|
| (1)教育理念・目標 | (2)学校運営       | (3)教育活動    | (4)学修成果 |
| (5)学生支援    | (6)教育環境       | (7)学生の受入募集 | (8)財務   |
| (9)法令等の遵守  | (10)社会貢献・地域貢献 |            |         |

4. 評価項目に対する評価 (5段階とする)

- 5 : 良好    4 : 適切    3 : ほぼ適切    2 : やや不適切    1 : 不適切

以上

## 2023年度 ミス・パリ エステティック専門学校名古屋校 自己評価表

### 1. 学校の教育目標

本校の教育理念「美しく聡明で品格あるプロフェッショナルの育成」を念頭に、学校法人ミスパリ学園としての自覚と自負の下、「充実した教育課程」「学生獲得」「就職確保」の3本柱を全教職員の力で全うし、わが国トップクラスのトータルビューティの専門学校を目指す。

### 2. 本年度に定めていた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

- 1) 担任、学生募集、ご家族、高校との連携を密にする。
- 2) 気づき、問題点に対して、行動を素早く対応できる講師を目指す。
- 3) 教職員の研修を実施
- 4) 業務の明確化、見える化
- 5) 職業実践における教育レベルの統一化。

### 3. 自己評価

5：良好    4：適切    3：ほぼ適切    2：やや不適切    1：不適切

#### (1) 教育理念・目標

	評価項目	評価	前年度
1	学校のビジョン及びそれを実現するための方針を策定しており、かつ、教職員に理解されているか。	5	5
2	特色ある学校づくりを進めるために、求められる仕事及び求められる人間性を明確にし、学校独自のカラーを出しているか。	5	5
3	学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが、学生や保護者等に周知されているか。	5	4
4	目標に対する評価を年度内に実施し、その結果を教職員に周知するとともに、次年度の目標につなげているか。	4	5
5	教育目標、育成人材は学科等に対する社会のニーズに向けて方向付けられているか。	5	5
<b>取り組み</b> ・「ビューティキャンプ」と題し、放課後を利用して自主練習をしやすい環境を整えた。			

講師も配置することで、学生の疑問や質問にも答えられる体制にした。

- ・学生をどのような人物・人材に育て社会に輩出するのか、また社会で活躍できる人物とはどのような人材であるべきかを明文化し、職員の認識を統一する。
- ・教育課程編成委員会での企業からの意見を職員会議・講師研修で周知し、共有する。  
また、共有を速やかに行うため、職員会議を毎月で開催とした。

#### 課題

- ・「ビューティキャンプ」のスタートが後期後半となり、数字として効果確認できていない。
- ・学生に対し「資格合格」「卒業」という結果をゴールとする傾向があり、本来の目標である「美のプロフェッショナルになる」ことを発信しきれていない。
- ・保護者アンケート結果の共有と改善のための施策を話しあったが、解決できるような具体的な施策を行うまでに至らなかった。

#### 今後の改善策

- ・保護者アンケートの結果共有、各職員の意見を収集、具体的な仕組みを作り実行する。
- ・教職員が学生に指導する際、目前の課題（資格試験や技術習得等）に対しての合格ラインを提示するのみではなく、それを習得し行使することが将来の自分自身の糧となるということを、学生が理解し学業に取り組めるような指導法・言葉の伝え方を常に考え続ける。

## (2) 学校運営

	評価項目	評価	前年度
1	事業計画等に沿った運営方針が策定されているか	5	5
2	学校運営などに学生の意見が反映されているか	5	5
3	地域社会への貢献の一環として、学校施設を地元開放しているか	5	4
4	地域との協力関係が確立されているか	5	5
5	運営組織や意志決定機能は、規則等において明確化されていて、有効に機能しているか	5	4
6	人事・給与等に関する規程等は整備されているか	5	5
7	教務・財務等の組織整備など意志決定システムは整備されているか	5	5

8	教職員の健康診断を実施しているか	5	5
9	各種システム化等により業務の効率化が図られているか	5	4
10	ホームページは、適宜更新し、見やすくしているか	5	5
11	学校評価を組織的に実施し、評価結果を教職員に周知するとともに、改善計画を策定しているか	5	5
12	学校運営及び評価の結果を学校関係者以外に、何らかの方法で公表しているか	5	5
<p><b>取り組み</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本校の教育活動に対する理解を得るため、ご家族様アンケートに「年間行事がわかるような資料が欲しい」という意見もあがることから、ご家族様向けの学校の年間行事等の資料を保護者会報告として全家庭に送付した。</li> <li>・文化祭にて、エステティック施術の提供・化粧品等の販売を行い、学校関係者以外の地域の方々の参加も広く募っている。また資格試験や企業の研修会場として学校施設を開放し、利用していただいている。</li> <li>・学生が参加する学校行事に対しては学生実行委員を決め、講師とともにミーティングに参加することで学生の意見も反映できるよう運営している。</li> <li>・学校運営について教職員全員の認識を深めるため、講師研修を活用し目標の評価、改善策の検討を行っている。</li> </ul> <p><b>課題</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年間予定を家庭に送付したが、発送のタイミングが7月と遅すぎた為、発送時期を変更する。</li> <li>・教務と学生募集の意思疎通を図り、入学時定員達成と在校生の健やかな成長・卒業がリンクしている認識を強くもつ。</li> </ul> <p><b>今後の改善策</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者向け年間予定一覧表は4月中旬に送付する。</li> <li>・講師研修に全教職員が参加し、教務と学生募集との意思統一を図る。</li> </ul>			

### (3) 教育活動

	評価項目	評価	前年度
1	教育課程は、教育理念・教育目標と一貫性がある内容になっているか	5	5

2	定期的に教育課程の評価を組織的に行い、時代の要請、変化にあったものに修正しているか	5	5
3	シラバス（授業計画書）は、学生が授業内容を理解しやすく、授業内容と一致しているか	5	5
4	効果的な授業運営を図るため、適切に時間割を調整しているか	5	5
5	授業内容や指導方法が学生レベルに合うよう工夫・改善しているか	5	4
6	学生に修了認定のための評価基準と方法を公表しており、かつ、評価は公平性・妥当性が保たれているか	5	5
7	評価結果による教員面接・指導が行われているか	5	5
8	未修了科目の原因分析を教員側と学生側とで実施し、対応策を講じているか	5	5
9	資格対策に個々の学生にあった指導・援助を実施するなど、教職員一丸となって取り組んでいるか	5	5
10	人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	5	4
11	教職員のスキルアップのための研修を行っているか	5	5
12	研修や出張で学会等に参加した成果を他の教職員に還元する仕組みがあるか	5	5
13	教職員の授業を他の教職員、または外部関係者が参観、講評できる制度があるか	5	4
14	教職員による自己評価が定期的に行われているか	5	5
15	インターンシップ等を利用して、職業選択について深く考える契機を提供出来ているか	5	5

16	関連分野の企業・関係施設や業界団体等との連携によりカリキュラムの作成・見直し等が行われているか	5	5
<p><b>取り組み</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各単元の初回授業時に授業回数、到達目標を学生に説明することで、各科目の目標を学生自身が把握し学修の成果向上を目指すこと。</li> <li>学生自身がお客様のために自ら考えて行動できるよう実践的な授業となるシステムを再構築。具体的には、イベントや学内サロンで技術や接客（行動）の意味を説明することで、より実践的でありながらも、学びが深くなるような環境を提供する。</li> <li>講師研修において、「理論研修」として各授業担当者が全職員に向け理論授業を行い、理論の授業方法の改善を図った。</li> <li>学生の授業に対する満足度を上げるため「教育に関するアンケート」を実施し、学生の生の声を得ることで、今後の指導に活かせるものにした。</li> </ul> <p><b>課題</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>実践的な実習授業はやる気のある学生には良いモチベーションとなったが、人によっては負担に思う学生もいることを理解し、実行委員及び授業担当職員が個別にフォローする。</li> <li>教職員向けの複数の研修をより精査し、生産性の高いものを来年度も実行する。</li> </ul> <p><b>今後の改善策</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き、月に1回の学年ミーティングを行い、前年度の結果を基に今年度の学生に合わせた指導方針・方法を決定すること。</li> <li>引き続き、年2回実施する授業アンケート結果を基に、学生の満足度を高めるための指導方法の標準化、指導力の向上に向け、教職員面談を徹底する。</li> <li>学生面談において、学生から聞き取る内容を教職員内で統一する。</li> <li>教務と学生募集の相互理解を深め、今まで以上に協力体制をとる。</li> </ul>			

(4) 学修成果

	評価項目	評価	前年度
1	学生の就職に関する目標を設定したか。またその成果は十分か	5	5
2	学生の資格取得目標を設定し、その結果検証をおこなっているか	3	4
3	中途退学者を少なくする工夫・努力をしているか	2	4



4	卒業生の就職先での評価を把握し、問題点を明確にしているとともに、その改善策を講じているか	5	5
<p><b>取り組み</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・就職については、専任の就職担当者を中心に担任と連携し学生をサポートしたことで、就職内定率 100%を達成。</li> <li>・各資格試験の日程に合わせた段階的な授業進捗と模擬試験を計画的に実施し、合格率のアップにつなげる。また、技術の要点を理解できるような指導方法を工夫した。</li> <li>・昨年実施した「放課後質問会」は授業に遅れていると感じる学生をサポートする機会となっていたため、引き続き実施。さらに外部講師にも放課後質問会に参加いただき、より学生の向上心と修学のサポートをした。</li> </ul> <p><b>課題</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・欠席者、中途退学者が多い。</li> <li>・学校のシステムや資格取得に対し、学生の理解が十分に得られていない。</li> <li>・各資格の合格率が低い。（特に筆記試験） 授業への興味は引き出せているが、それを資格試験の合格率アップに繋げるように授業展開を工夫する必要がある。</li> <li>・エステ以外の資格への対応力が弱い。ネイル・メイク・美容部員への進路希望も多く、それらに関する最新の試験内容を把握する必要がある。</li> </ul> <p><b>今後の改善策</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・入学前の段階で、どのような人材を育成していくのかを教職員間で明確にする。</li> <li>・理論を理解していることでより技術力や接客力の向上に繋がるという事を理解できるように授業展開を工夫する。</li> <li>・合格率が悪い選択授業科目の講師が最新試験内容を把握していなかった事は、検定合格率が芳しくなかった大きな要因と考えられる。その為、新たな業者の導入も検討する。</li> </ul>			

#### 5) 学生支援

	評価項目	評価	前年
1	学生の心身面での健康管理体制が整っているか	5	4

2	学生生活、進学、就職に関して学生の相談に十分応じているか	5	5
3	学生のサークル活動やボランティア活動などの自主活動を支援しているか	5	5
4	災害など非常時の危機管理体制が整っているか	5	5
5	奨学金等の経済的支援があるか	5	5
6	学費減免、学費分納制度があるか	5	5
7	学生寮を保有しているか	5	5
8	卒業生への再教育、または就職支援体制はあるか	5	5
9	社会人のニーズを踏まえた教育環境は整備されているか	5	5

#### 取り組み

- ・1年生の面談日を学生のモチベーションが下がりやすくなる9月に1回増やし、学生の状況の把握、学習のフォロー、目標設定をすることで退学者を減らす取り組みを行った。
- ・学生指導記録を導入。個々に指導した内容を共有し、指導内容が改善されているかを教職員の誰でも確認ができ、学生の状況に応じた指導ができるように連携を図る。
- ・卒業後に社会人となるための心構えと自覚を持たせるため、学則に準じた規律ある行動がとれるよう全教職員が一貫した姿勢で学生指導にあたる。

#### 課題

- ・学生指導にあたる際、指導内容を教職員内で統一する。
- ・学生指導内容が全員閲覧できる状態ではあるが、その情報にアクセスするための工程が煩雑化している。

#### 今後の改善策

- ・指導要綱を変更・改定することで、学生への指導内容に一貫性をもたせるようにする。
- ・教職員が然るべき時に然るべき情報を迅速に得る為の「見やすく分かりやすい」データベースの構築と整理を行うこと。

### (6) 教育環境

	評価項目	評価	前年
--	------	----	----

1	教育目標達成に必要な施設、設備及び新しい教材が整っており、活用されているか	5	5
2	学生のために、休息、親睦及び交流等を行うためのスペースが設けられているか	5	4
3	防災に対する体制は整備されているか	5	5
4	学校行事の運営等に学生を積極的に参画させているか	5	5

#### 取り組み

- ・機器の使用前点検について、実施、点検記録の記載を講師研修後に行うことで、確実な実施ができるようにした。点検用シートを改訂し、全校で統一して取り組んでいる。
- ・7階、4階のエントランスに談話スペースをつくった。
- ・機器について、廃棄と新規導入を行った。さらにその推移がスムーズになるよう、機器担当者をたて、管理体制を整えた。

#### 課題

- ・機器の使用前点検ができていないことがあるため、機器点検について確実に実施できる方法を検討し使用前点検を徹底する。
- ・行事としてレクリエーションを行っているが、学生のリフレッシュの場となっているのみで教職員とのコミュニケーションの機会とはなっていない。
- ・機器及び設備の老朽化が進んでいる。

#### 今後の改善策

- ・機器及び設備の老朽化に関して、毎年の理事会に提案して予算を申請し、順次対応していく。
- ・学生と教職員のコミュニケーション強化を図るための施策を考える。レク内容の趣旨を再考する。

#### (7) 学生の受入募集

	評価項目	評価	前年度
1	学生募集計画があるか。また成果は十分か	4	5
2	学校案内等には育成人材像が明示されているか	5	5
3	学校案内等には目指す資格・検定試験等が明示されているか	5	5
4	学校案内等には学費・教材費が明示されているか	5	5

5	入学（予定）者に対し学習、学生生活のためのオリエンテーションは行われているか	5	5
<p><b>取り組み</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続きオープンキャンパスではオンラインと来校型の2種類の形態で実施し、学校の魅力や特徴が伝わるような内容を構築し、遠方からの入学者の増加につなげる。</li> <li>・学生の募集計画を全職員が理解できるよう職員研修を全職員参加とし、共有する機会を増やす。また、募集担当と教員と一緒に進路相談に入りカウンセリングの底上げをする。</li> <li>・入学前のカウンセリングで、エステティックマスター学科や専門職大学の説明を行い、学習意欲を高めていく。また、専門職大学との合同オープンキャンパスを行うことで、ミスパリ学園の教育方針など、より多くの高校生に興味をもってもらえる機会をつくる。</li> </ul> <p><b>課題</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2024年度入学者数が減少している。</li> <li>・オープンキャンパスや学校行事のシステムに対し、学生から理解を得られる説明ができていなかった。</li> </ul> <p><b>今後の改善策</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・在校生のオープンキャンパスへの取り組み方を見直す必要がある。このイベントで高校生のミスパリへの印象は決まるため、ミスパリ学園の良さがスムーズに伝わるよう、在校生の意欲向上を図る。</li> </ul>			

(8) 財務

	評価項目	評価	前年
1	予算計画、年間事業計画を策定し、適正な予算の執行・進捗管理を行っているか	5	5
2	財務について会計監査が適正に行われているか	5	5
3	財務情報公開の体制整備はできているか	5	5
<p><b>取り組み</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・財務管理に関する現状の取り組みについて、監事より高評価を受けている。</li> </ul> <p><b>課題</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員のコスト削減に対する意識を高める。</li> </ul> <p><b>今後の改善策</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・より緻密な営繕計画を策定すること。</li> </ul>			

(9) 法令等の遵守

	評価項目	評価	前年
--	------	----	----

1	法令や専修学校設置基準を遵守しているか	5	5
2	学生指導において、学生に対して人権への配慮がされているか	5	5
3	学生、非常勤講師や教職員の個人情報の保護について、考慮しているか	5	5
4	自己点検・自己評価を定期的実施し、問題点の改善につとめているか	5	5
5	自己評価結果を外部に対して公表しているか	5	5

#### 取り組み

- ・全教職員を対象に自己評価結果のフィードバックを行い、問題点、課題の共有を行った。
- ・学生を対象とした SNS 使用に対する注意喚起や、正しい使用方法について、ホームルーム等の時間での周知や、事故が起りやすい長期休暇前に注意喚起を行っている。

#### 課題

- ・引き続き職員全員が法令等の遵守を意識して行動できるようにする。

#### 今後の改善策

- ・学生同士の SNS による誹謗中傷や不快な思いをしたという事例がある。  
都度起こった事例に対して、職員会議等で発信・協議し、早期の解決を図る。

### (10) 社会貢献・地域貢献

	評価項目	評価	前年
1	学校の実習施設を活用するなど高等学校の職業教育の実施に協力・支援しているか	5	5
2	環境問題など重要な社会問題の解決に貢献するための活動を行っているか	5	4
3	受け入れ、在籍管理等において適切な手続き等がとられているか	5	5
4	学習成果が国内外で評価される取組を行っているか	5	4

#### 取り組み

- ・ごみ捨て方法、分別方法を工夫し、学生に分かりやすく変更。  
地域貢献のひとつとして捉えられるよう声かけをした。
- ・引き続き、ミスパリ祭にてバザーを行い、収益を日本赤十字社に寄付した。

- ・マスター学科の取り組みで、ウィメンズマラソンのボランティアスタッフとして参加した。  
養護施設利用者の方へのハンドトリートメントを行い、心身の健康と安らぎのサポートをした。

#### 課題

- ・ IPSN や ISO の正確な意義を全体に周知できていない。

#### 今後の改善策

- ・ 中学、高校のインターンシップを積極的に受け入れること。
- ・ 再度職員会議にて IPSN や ISO の正確な意義を講師全体に周知し、学生に正確に伝えられるようにする。